

特徴：

- ・ 設置と使用が簡単
- ・ 短い処理時間
- ・ 標準型／カスタム型
チャンバー
- ・ プロセスガス
- ・ プロセス制御
- ・ コスト効率の高い表面
処理
- ・ 真空圧プラズマ
- ・ 完全な自動化ラインに
対応

VacuLINE — 真空プラズマトリーター 標準／カスタム真空プラズマトリーター



Tantec の VacuLINE プラズマトリーターは、多様な射出成形部品の大量処理を目的として設計されています。本装置は、オペレータを必要としないインライン生産での使用に最適です。VacuLINE システムは処理時間が短く、下流での塗装、接着、印刷およびペイント用途に最適な接着性を実現します。

処理チャンバー内を0.1~4.0 mbarの真空状態にした後、統合型プラズマ電極によって電気放電が行われます。処理サイクル時間は一般的に短く、材料と組成に応じて20~180秒となっています。

VacuLINE プラズマトリーターは、簡単な操作性、生産の信頼性、速いプロセス速度を誇ります。アルゴンや酸素などの処理用ガスを適用することも可能ですが、ほとんどの場合、プラズマ放電による高出力のために、処理用ガスは必要ありません。

VacuLINE は、最新の Tantec HV-X シリーズの発電機を電源として、また特別設計のトランスをプラズマ電極への電圧供給に、それぞれ使用します。

国内販売代理店
株式会社第一メカテック
埼玉県川口市領家 5-8-6
TEL:048-222-1730
メールアドレス: materials@dmr.co.jp

タンテック本社
Tantec A/S
Industrivej 6
DK-6640 Lunderskov
(+45) 7558 5822

タンテック米国:
(+1) 630-351-1320

タンテック米国／カリフォルニア
(+1) 714-729-3499

メール: sales@tantec.com

ウェブ: www.tantec.com

設置と使用が簡単

主電源と圧縮空気に接続するだけで使用できます。

短い処理時間

高い出力効果により、材料に応じて 20~180 秒で処理できます。

標準型／カスタマイズ型チャンバー

チャンバーサイズは、仕様、用途に合わせて設計できます。

プロセスガス

アルゴンや酸素などのプロセスガスを使用できますが、ほとんどの場合は必要ありません。

プロセス制御

プラズマプロセス全体は HV-X 発電機と PLC 装置により制御されます。すべてのパラメータはタッチパネル上に表示されます（標準-Pro-face 製）。

コスト効率の高い表面処理

低電力と特別な処理用ガスを必要としない設計により、非常にコスト効率よく表面の湿潤性と接着性を向上できます。

真空圧プラズマ

導電性表面と非導電性表面の両方を処理できます。

完全な自動化ラインに対応

ロボットセルや既存の搬送ラインに簡単に導入できます。

技術仕様	VacuLINE
主電圧および周波数	3 × AC400 V + N + PE 50/60 Hz
プラズマ出力	0~6000 W
電源	HV-X プラズマ発電機シリーズ
圧縮空気入口	5~6 bar (クリーン&ドライ)
プロセスガス	標準：空気 (要望に応じて酸素、アルゴン、窒素に対応)
真空ポンプ容量 (m ³ /min)	15~240 m ³ /min (真空チャンバーのサイズによって異なる)
真空レベル	0.1~4.0 mbar
真空排気時間 (一般)	15~120 秒 (チャンバーサイズとポンプ容量によって異なる)
プラズマ処理時間 (一般)	20~180 秒 (材料によって異なる)
制御および接続	タッチパネル (標準-Pro-face 製)
準拠規制	CE - RoHS - WEEE